

OSAKA CITY UNIVERSITY

**子育て支援施策の比較政治学
—政党政治の観点から—**

日本学術会議主催フォーラム「乳児を科学的に観る：発達保育実践政策学の始動」
2016年3月27日
神田健志, Ph.D.
大阪市立大学准教授

1

OSAKA CITY UNIVERSITY

0. はじめに

- 政治学の観点から保育政策を分析する意義
 - 政治の定義
 - 「稀少価値の権威的配分」↔「自発的交換を通じた財の効率的配分」(市場)
 - 政治学の視点
 - 充実した幼児教育・保育サービスが便益をもたらすとしても、他の政策課題と予算を競合する関係にある
 - いかなる政治的条件が整うと公的保育サービス向け予算が優先されるのか(あるいは冷遇されるのか)?

2

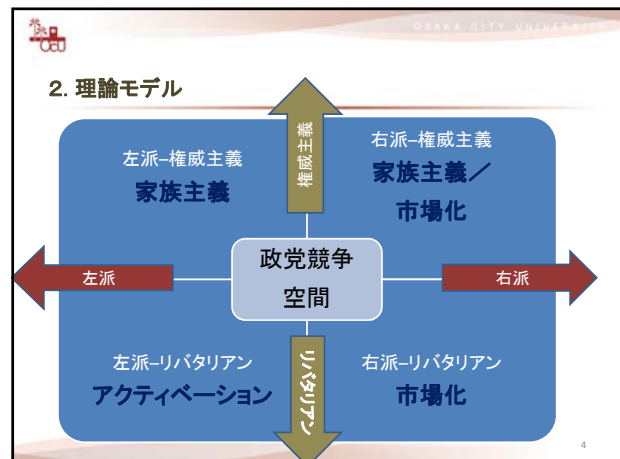
OSAKA CITY UNIVERSITY

1. 問題設定

- 工業社会型社会政策
 - 「脱商品化」
 - 世帯単位
 - 男性稼ぎ手への現金給付が主
 - 失業保険、疾病給付、老齢年金、寡婦年金
- 「新しい社会的リスク」向け社会政策
 - 「再商品化」
 - 個人化
 - 現物給付主体
 - 「脱家族化」
 - 保育サービス、育児休暇、高齢者介護、積極的労働市場政策

工業社会型社会政策から「新しい社会的リスク」に対応した社会政策への移行を促進したり、制約したりする政治的要因は何か?

3



OSAKA CITY UNIVERSITY

2. 理論モデル

- 左派-リベタリアン政党
 - 若年層や母親層の労働市場統合(アクティベーション)
 - 個人としての自立をサポートするためであれば、財政支出の拡大を厭わない
 - 環境主義政党、「第三の道」型社会民主主義政党、ラディカル左派政党
- 左派-権威主義政党
 - 「男性稼ぎ手」の労働市場及び引退後のステータス確保(家族主義)
 - 「男性稼ぎ手」を通じて生活保障されるべき女性・若者への政策的介入には不熱心(家族主義)
 - 階級政党型社会民主主義政党、再分配型キリスト教民主主義政党、福祉ショービニズム政党

5

OSAKA CITY UNIVERSITY

2. 理論モデル

- 右派-リベタリアン政党
 - 非就労層の労働市場への統合には、財政支出の拡大を伴わない形でなければ熱心(市場化)
 - 市場原理を活用する形でケアの社会化に肯定的(市場化)
 - 自由主義政党
- 右派-権威主義政党
 - 支持層に応じて家族主義か市場化路線
 - 保守政党、新自由主義転回型キリスト教民主主義政党、右派ポピュリズム政党

6

2. 理論モデル

- 前提
 - もし、二次元政党競争空間での政党の政策位置が「新しい社会的リスク」向け社会政策への政党の選好を表すならば、政党で構成される単独・連立政権の政策位置も公共政策に影響する。
- 仮説
 - 「左派」かつ「リバタリアン」政権は公的保育サービス向け公共支出を増やす。

7

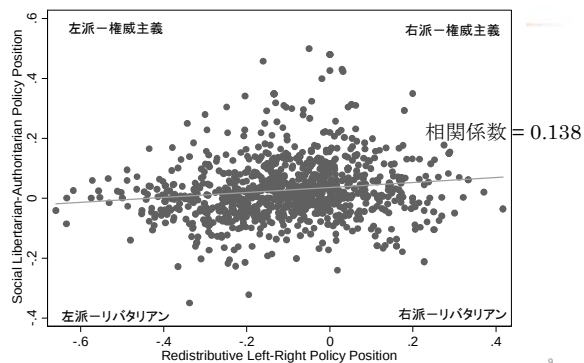
4. データ

- 被説明変数： 公的保育支出（1980-2005年）
 - OECD加盟18ヶ国、1980－2005年
 - Δ 家族向け現物給付支出の対GDP比 $= (Y_t - Y_{t-1})$
- 説明変数： 政権の政策位置（1980-2005年）
 - 政党の政策位置を、比較マニフェストプロジェクト(CMP)のデータを用いて、再分配軸と社会的価値軸に沿ってそれぞれ測定 (Volkens et al. 2010)。
 - 再分配軸上の左右位置
 - (右派カテゴリーの総計(比率)) - (左派カテゴリーの総計(比率))
 - 社会的価値軸上のリバタリアン・権威主義位置
 - (権威主義カテゴリーの総計(比率)) - (リバタリアンカテゴリーの総計(比率))

8

データ

再分配軸および社会的価値軸上の政党の政策位置の散布図



9

4. 公的保育サービス支出の分析

- クロス表集計：公的保育支出の年次増加率の平均

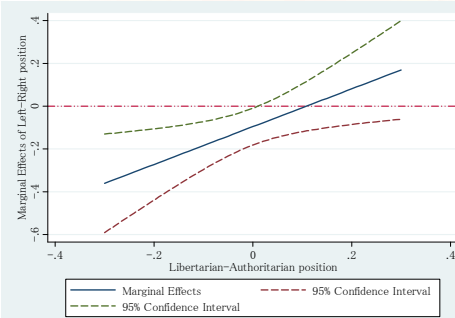
	左派	右派	平均
権威主義	2.65% (N = 66)	3.21% (N = 112)	3.00% (N = 178)
リバタリアン	7.40% (N = 127)	4.14% (N = 93)	6.02% (N = 220)
平均	5.77% (N = 193)	3.63% (N = 205)	4.67% (N = 398)

出典： 穂田健志「政党競争空間の変容と福祉再編」『比較政治学会年報』第15号、p. 124, 2013年。

10

4. 公的保育サービス支出の分析

多変量解析： 左派-右派政策位置 と リバタリアン-権威主義政策位置の公的保育支出への交互作用効果



出典： Hieda (European Journal of Political Research 2013: 504)

11

5. 結論

- 主要な結果
 - 政党の政策選好の違いが、政権構成を通じて、公的保育支出の近年の変化に影響を与えてきた(二次元政党競争空間での党派性仮説)。
 - 公的保育支出の拡大には、政権が再分配軸上の「左派」に位置しているだけではなく、社会的価値軸上の「リバタリアン」であることが必要。

12